



No. 15 / 49

有脇小学校校長だより

2020・11・30

コロナに負けないよ

コロナウイルス感染症の第3波がきています。有脇小学校では、うがい・手洗いの励行、マスク着用（体育、登下校時、給食中ははずすことも可）、登校時・給食時の手指消毒、登校時の健康チェック、“大声幸3号改スペシャル”（アクリル板）の装着、業者による消毒、手洗い場のソーシャルディスタンス確保、音楽用全員分フェイスシールド、小型キーボード導入、加湿器各教室2台設置（1台新たに購入）等、できることを確実にやっています。また、各教科の授業においてもさまざまな工夫をして行っています。特に手洗いは、道具や用具を共通で使うときは事前にしっかり行っています。子どもたちはその生活に慣れつつあります。

第3波が確実にきていますね

ここで特に大切なのは「登校時の健康チェック」です。各家庭で毎日登校する前に必ず“体温”を計測していると思います。また、健康状態を確認していただいています。このカードを基に、学校で子どもたちは活動しています。これは職員も同じです。毎朝体温を計測して出勤しています。この毎日の取り組みがいい加減なものになれば、もしも感染した場合に、大変なことになる可能性があります。



夏には“熱中症”を心配しなければなりませんでした。これからはインフルエンザの流行も心配です。ただ、3学期には5年生「野外活動」と6年生「修学旅行」が予定されています。現在、両行事ともに実施の予定です。野外活動は「愛知県美浜少年自然の家」で、修学旅行は「奈良・京都」へ行きます。コロナに関して、さまざまな工夫をして、できることを確実に行うことで、中止ではなく実施できる方法を見いだしていきたいと思えます。“ありっ子スポーツフェスティバル”や“学習発表会”のように。「コロナには負けないよ」と有脇小学校全員でがんばりたいと思えます。



走って体をきたえよう!



「マラソン運動」が11月24日から27日までの4日間行われました。「マラソンチャレンジカード」(枚数が増えるごとにカードの色が変わります)を使って自分が走った周回数を報告します。走ることができるのは、朝・大放課・昼放課・下校時刻までとなっています。大放課は原則全員参加です。4日間と実施期間は短いですが、子どもたちの元気な声がよく響いてき

ました。これをきっかけに、放課は外で遊んだり走ったりして体を鍛えてほしいです。

ちなみに松浦Tは、愛知駅伝(モリコロパークで毎年実施されている市町村対抗の駅伝・今年はコロナ禍のため中止)で、ここ数年半田市の代表ランナーを務めているんですよ。知っていましたか。速く走るコツを教えてもらおうといいよね。



こうすれば「調理実習」はできる!



6年生が調理実習を行いました。11月25日の中日新聞朝刊に「調理実習でつくったものを廃棄」という記事が載っていました。(いろいろな意見はありますが、子どもたちに、調理実習をやらせるためには仕方がない選択だったのかもしれない。)

今、学校はコロナに対していろいろな工夫をしています。「やめる」ことは簡単なことですが、「実施する」方法をなんとか模索している最中です。これは学校の規模にもよります。有脇小学校は小規模校ですから、それを生かした取り組みをすることができます。

調理実習では、まず半分ずつのグループに分けて行います。残った半分は別の学習を教室で行います。これも有脇小学校には家庭科の専科教員(その教科だけを教える教員)がいるからできるのです。実習を行うグループは、自分のものだけを作って食べます。これを行うためには人数分の道具が必要ですし、その準備が大変です。それぞれが道具を準備する(この作業も本来は必要です)のではなく、はじめから消毒をしっかり行った、分けられた道具を使うのです。できあがったものを盛り付けるのも自分の分だけですし、それを食べるのも自分一人です。そして無言です。子どもたちは普段とは違った調理実習を体験しました。「仕方なくやめる」という選択もありますが、「なんとか工夫して実施」していきたいと思います。小規模校の良さを生かしていきます。